



オンライン  
開催

ワークショップ

みんなで考える

# 精神障害にも対応した 地域包括ケアシステム

誰もが望んだ場所で心豊かに暮らせる地域のあり方を、精神障害がある人やその家族、その支援にあたる人の視点から考えるワークショップです。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の理念のもと各地域で実践されていることや、それぞれ立場の声をもとに、皆で理想の地域を考えます。



## 2022年7月31日(日)

14:00～17:00 定員:200人 (先着順・事前申込制)

無料

対象

精神障害のある当事者、家族、行政関係者、専門職、地域のサポーターなど

講師

藤井千代さん

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所  
地域精神保健・法制度研究部部长

柳沢陽子さん(退院歴9年)

坂本拓さん(こどもびあ代表)

古橋陽介さん(特定非営利活動法人江戸川区相談支援連絡協議会)

お申し込み

当事業団のホームページからお申し込みください。

<http://www.asahi-welfare.or.jp/archives/2022/06/caresystem-20220731.html>

お申し込み締切：7月19日(火) (定員になり次第締切)

こちらのQRコードから  
アクセスいただけます



朝日新聞厚生文化事業団

みんなで考える  
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

プログラム

14:00▶14:10	オープニング
14:10▶14:30	講義 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて」 藤井千代さん
14:30▶14:45	発表① 当事者の立場から 「みんなもおいでよ虹のまち」 柳沢陽子さん
14:45▶15:00	発表② 家族の立場から 「子どもの立場の思いとピアサポート」 坂本拓さん
15:00▶15:15	発表③ 支援者の立場から 「お一人おひとりのニーズから理想の地域へ」 古橋陽介さん
休憩	
15:25▶16:55	ワークショップ 「私が暮らしたい理想の地域風景」 *個人ワークとグループワークを予定しています *グループワークの際は、ビデオをONにしてください
16:55▶17:00	クロージング

※プログラムは変更になる場合があります

講師プロフィール

藤井千代さん

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部部長

自衛隊中央病院精神科医長、在宅緩和ケアクリニック副院長、埼玉県立大学保健医療福祉学研究科准教授を経て、2015年より国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所に勤務。16年より同研究所社会復帰研究部長、18年より現職。精神疾患の早期発見・早期介入に関する研究、家族支援に関する研究、精神科地域医療の展開やケースマネジメントに関する研究などに取り組む。

オンライン開催について

- ・オンラインシステムZoomを使用して開催します。
- ・パソコン、スマートフォン、タブレットからご参加いただけます。
- ・7月22日(金)を目途に、当日ご参加いただくためのご案内を、メールでお送りいたします。

主催  朝日新聞厚生文化事業団

後援 認定NPO法人地域精神保健福祉機構コンボ／公益社団法人全国精神保健福祉会みんなねっと(予定・順不同)

お問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団 包括ケアワークショップ事務局

メール: caresystem@toiawase-jimukyoku.com